

# 適期中干しで適正生育を確保しよう！

## 中干し開始までの水管理

- ・浅水管理(2~3cm)で地温を高め、分けつ発生を促しましょう！
- ・ワキの発生が多い場合は、水の更新や夜間落水によるガス抜きを行いましょう。

## 田植後25日に生育を確認し、遅くとも田植後30日には中干しを開始しましょう

60株植え: 茎数15本/株 50株植え: 茎数18本/株  
 に達したら、直ちに中干しを開始しましょう！



中干し開始適期



中干し開始時期としては遅い

適期中干しで、適正な生育量になるから、穂肥が施用できて、収量・品質が確保できるよ！



## 中干しは田面に小ヒビが入り、軽く足跡が付く程度まで！



小ヒビ



大ヒビ(乾かしすぎ)

乾かしすぎは品質低下につながる恐れがあるよ！



## 斑点米カメムシ対策

- ・斑点米カメムシ類の発生源をなくすため、水田内除草や、農道畦畔の草刈の徹底をしましょう。(野焼きは禁止されています。)
- ・刈った草は、用水や河川に流さないようにしましょう。

### 【QRコードを読み取り稲作情報を確認しよう】

JA魚沼 北魚沼地区  
 営農情報 (LINE)  
 はこちら →



魚沼農業普及指導  
 センターHP稲作情報  
 はこちら →



お問い合わせ先

JA魚沼北魚沼基幹営農センター  
 025-793-1770  
 魚沼農業普及指導センター  
 025-792-1309